

お疲れさまでした！

上演校⑥ 高田高校

「第76回中部日本高等学校演劇大会
文部科学大臣賞受賞作品」

西尾 優 作

速報文

割れた鏡

あらすじ

私たちは昨年度、中部大会に出場し、なんと、文部科学大臣賞をいただき、全国大会に出場することができました。全国大会は岐阜で、優良賞でした。応援ありがとうございました。夢みたいな日々でした。そう、大雪の中、バスでなんとか到着して、みんなで頑張って上演して、中部大会で、文部科学大臣賞、受賞したんだよね。うれしかったね。うん。あの日、あの場所に、私たちは、、、いた。



お客様の声

- ・行方不明の友達を忘れられずにふるまうミサキの姿に胸が苦しくなった。
- ・場転がすばやく、飽きがこなかった。
- ・発声がとてもきれいで聞きやすかった。
- ・明暗の感じが切なくて好きでした。
- ・最後の照明と花吹雪が美しかった。
- ・ブルーシートで表現した波や歌うシーンがとても好きです。

速報係が見た。この劇の感想！

最初、みさきとかなでの全国大会を目指す過程を描いた物語だったが、その後、かなでは石川の地震で巻き込まれた行方不明の一人であると判明。かえでと一緒に全国大会を目指していたみさきは、見つからないかなでを自分の中で探し続けていた。友達に「現実を見ていない振りをしているだけ」と言われ、現実に戻される。かなでに今の気持ちを伝える友情ストーリーであった。演技をしている人は観客を魅了させるような一体感と歌声で引き寄せ、最後には感動させるような演技だった。

担当：富山県生徒実行委員会 速報係 舟上、吉江